

医療法人翔樹会

SDGsの取組

取組・活動内容	高齢化と共に、人生の最期をどこで迎えるのか、どのように迎えるのかという問題が発生している。医療、福祉サービスを提供するものとして、「その人の最期」までをサポートする。また、サポートできる人財を育成し、地域社会の発展を担う。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
経済	1, 4, 8, 10	1. 外国人材の受入れと長期就労サポート 2. 無資格者への資格取得のサポート	1. 8名（2023年）→10名（2030年） 在留資格「介護」取得2名（2030年） 2. 無資格者20%（2023年）→無資格者10%（2030年）
社会	3, 5, 11, 16, 17	1. 在宅診療の認知度拡大 2. 通院が難しい方に対し在宅への十分な医療の提供 3. 女性管理職の拡充	1. 地域住民に対し在宅医療についての講演会を年4回実施（2030年まで毎年） 2. 在宅診療を2030年までに月350件 3. 43%（2023年）→50%（2030年）
環境	7, 13, 15	1. LED電球への切り替えや設備の入れ替えなどによる省エネの励行 2. 地域の清掃活動の実施 3. 太陽光発電の導入	1. 電気使用量2030年までに現状の10%削減 2. 年4回の地域清掃活動の実施（2030年まで毎年） 3. 2030年までに1施設